

激甚化・頻発化する大規模水害に対する迅速な避難に向けて 京都府域の首長が集結し、意見交換を実施！

【令和3年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会 首長会議（京都府域）を開催】

平成29年6月の水防法の一部改正により創設された「大規模氾濫減災協議会制度」に基づき、減災に向けた意見交換を行うため、「令和3年度 淀川管内水害に強い地域づくり協議会（首長会議）」を開催しました。

首長会議では、各市町等から地域の特性に応じた様々な取組事例の共有と、災害対策基本法改正に伴う新たな避難情報の発令について、「河川管理者からのホットライン」および「広域災害の情報共有とタイミング」を議題として、9市町の首長による意見交換を行いました。



◆開催概要

日時：令和3年6月29日（火）
15:00～16:40

場所：WEB方式（Zoom）による開催
参加者：宇治市長、城陽市長、八幡市長、木津川市長、久御山町長、笠置町長、和束町長、宇治田原町長、精華町町長、京都気象台長他

議事次第：

- 1) 報告事項
 - ・規約改正及び取組方針の見直し
 - ・令和2年度の活動報告
 - ・住民の水害に対する意識調査結果
- 2) 意見交換
 - ・議題①：河川管理者からのホットライン
 - ・議題②：広域災害における情報共有とタイミング

河川管理者からのホットラインに関する意見交換

住民への避難指示や避難所の開設準備等がより効率的かつ迅速に実施できるように、河川管理者から出されるホットラインの適切なタイミング等について意見交換を行い、下記の要望を受けました。

★「早めのタイミング」で情報提供が重要！

- ・天ヶ瀬ダムの緊急放流の実施が重要な要素となるため、予測を含め事前に全体の情報を頂きたい
- ・避難準備発令水位到達前に水位予測情報として約1時間前に提供頂きたい。
- ・警戒レベル2の氾濫注意情報発表の時点で、今後の見通しや体制判断の連絡を頂きたい。
- ・高齢者等避難発令（警戒レベル3）の参考となるようなホットラインを頂きたい。
- ・日没時間タイミングを含め考慮いただきたい。

広域災害における情報共有とタイミングに関する意見交換

近年、激甚化・頻発化する大規模氾濫による水害を想定し、広域災害の発生に対応できるような情報共有とそのタイミングについて意見交換を行い、下記の要望を受けました。

★必要な情報の「迅速な共有」と「連携」が重要！

- ・避難における広域という範囲設定の捉え方が重要であり、避難方法について検討をしていただきたい。
- ・広域的に予想される時間、地域、範囲などについての情報を迅速に提供いただきたい。
- ・雨量や水位に関する予測情報が発災の約1日前ごろから継続して提供いただきたい。
- ・近隣自治体の避難情報発令や避難所開設の情報、災害情報について共有いただきたい。
- ・広域災害では、近隣自治体との災害時の相互支援協定の締結にむけて協力をしていただきたい。

協議会では意見交換の他、協議会の構成員追加（鉄道関係者）等に伴う規約改正、「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく減災に係る取組方針の改定を行いました。

また、協議会における令和2年度の活動内容を確認するとともに、令和3年6月に実施した「住民の水害に対する意識調査」の調査結果及び得られた考察（経年的な変化・傾向や今後の課題）を共有しました。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所 調査課
〒573-1191 枚方市新町2-2-10 TEL 072-843-2861

